

## 秋まき小麦 赤かび病防除 1回目は適期に！

秋まき小麦の出穂始めは平年並の5月30日頃となる見込みです。茎数は平年並に推移しています（本年：1,200本/m<sup>2</sup>、平年：1,253本/m<sup>2</sup>、5/15現在）。

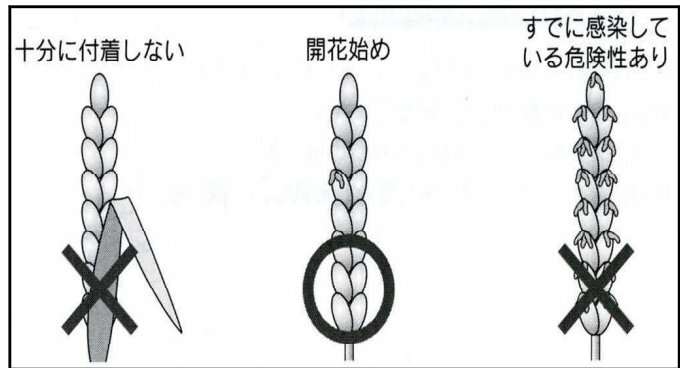
来週中には、出穂が揃うほ場も見られると思われます。生育状況をよく観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。

### ☆赤かび病防除のポイント

防除適期は「開花始め（20穂のうち1穂に花が咲いた状態）」。

降雨が予想される場合には穂が出揃った時期の早めに防除を行いましょ。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょ。



ニューカントリーより一部改変

### ☆赤かび病の防除体系例

防除時期	薬剤名	使用倍率	使用時期	回数
開花始め	バラライカ水和剤	500	収穫14日前	2
	または リベロ水和剤	2,000	収穫7日前	3
1回目の7日後	ベフトップジンフロアブル	800～ 1,000	収穫14日前	出穂期以降 1
	または ミラビスフロアブル	1,500～ 2,000	収穫7日前	2
2回目の7日後	リベロ水和剤	2,000	収穫7日前	3
	または シルバキュアフロアブル	2,000	収穫7日前	2

### ☆尿素の葉面散布

止葉期に窒素の分肥を行わなかったほ場や例年低タンパク傾向にあるほ場では、窒素資材の葉面散布を検討し、品質確保につなげましょ。

尿素 1～2%溶液（水100Lに尿素 1～2kgを溶かす）を 1～3回葉面散布

※ノズルが詰まらないよう、尿素をバケツなどで溶かして使用ましょ。

※葉色が濃い場合や、高温の場合は「葉焼け」防止のため1%溶液を推奨ましょ。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょ。

○●適正管理で目指せ！ 1等Aランク10俵どり●○